

環境物質化学コース

ものづくりの根底を支え、環境を守り、地球の未来を創造する化学技術者を育てます！

どんな人が向いているの？

- 理科が好きな人 ← 中学までの理科と一番近いのは化学！
- 実験が好きな人 ← 実験がたくさんでき、実験が上手になります！
- 環境問題に興味がある人 ← 環境問題に直接関係するのは化学！

http://www.ct.osakafu-u.ac.jp/course/course_a/



燃料電池



化学は生活に密着

化学系企業は食品分野、製薬分野など生活必需品を作り出し、安定した**超大企業**が多い



溶液の色の変化

就職も進学も
望みの未来が
ひらけます



バイオテクノロジー



河川水質環境調査

化学大国日本

日本人のノーベル**化学賞**受賞者は7人
(そのうち2000年以降が6人！)

先輩からのメッセージ (その1)

高専の就職倍率の高さは大きな特徴の一つですが、国立大学に卒業生を多数輩出していることも忘れてはなりません。また、高校ではすぐに受験勉強に追い立てられますが、高専では余裕ある5年間でクラブや趣味に打ち込めることも大きな魅力です。私の場合は囲碁将棋部に所属し、部長を務めたり、各地の大会に参加したりと5年間で貴重な経験をしながら、先生方のサポートもあって大学に編入することができました。みなさんも5年間で大いに満喫して大学編入にチャレンジしてみませんか？
(物質化学コース2009年度卒業生 坂 隆裕)



プラズマ発光分析装置
(金属濃度を調べる)

先輩からのメッセージ (その2)

私は、中学生の時から製薬や化粧品関係の仕事に興味があり、そういう仕事に就きたいと思っていたので、府立高専を選びました。物質化学コースに入ったころは、化学があまり得意ではなく3年生からの専門のテストは必死で勉強しました。4年生になって専門科目は増え、課題も毎日のようにあり、ついていけるのか不安でしたが、先生方はテスト前に補講などを開いてくれたり、吹奏楽部の先輩に勉強を教えてもらったので不安はなくなりました。実験でも普通高校ではできないような実験ばかりで楽しいです!!5年生になって、勉強と吹奏楽部を両立するために忙しいですが、毎日がとても充実しています。
(物質化学コース2012年度卒業生 奥村麻子)